

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームさちの家

作成日 平成22年5月18日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	利用者の急変や事故発生に備えて、応急手当や初期対応の訓練を定期的に行ってはいるが、軽度な転倒等の事故が発生しており、事故予防の為、利用者一人ひとりのリスクを明らかにする必要がある。	グループホームさちの家利用者一人ひとりの独自のリスクマニュアルを作成することで、未然にリスク回避を行うことを目標とする。	職員全員が、利用者一人ひとりのリスクを考え、利用者のリスク予測表を作成し、生活の場ごとに危険箇所や危険な行動をまとめ、事故等未然に防げるよう取り組む。	6ヶ月間～1年間
2	26	利用者がより良い暮らしを続けるための課題とケアのあり方について、利用者、家族、関係者等と話し合いを持ち、意見やアイデアを反映させてはいるが、利用者の身体と精神状態を把握し、利用者のニーズを確認しながら、より良い介護計画の作成と実践を行う必要がある。	利用者、家族、関係者等からより多くの情報を提供して頂くことで、課題とケアのあり方について分析し、利用者がより良い暮らしを続けていただく為の介護計画の作成と実践を行うことを目標とする。	利用者、家族その他関係者からの情報をより収集するためにも、利用者、家族等のカンファレンスへの参加を促し、また1ヶ月に1回のモニタリングをすることで問題点を明らかにしていく。	6ヶ月間～1年間
3	4	現在運営推進会議は、7名で構成され会議を開催しているが、今後地域密着型サービス施設のあり方として、より地域の関係機関との関わりを密にする必要がある。	関係機関として、地域の警察署（交番）、消防署員等に新たに加わっていただき、関係機関と関わりを密にし、より地域に存在するホームの事を理解して頂く。	警察署（交番）、消防署の方に運営推進会議の構成員に加わって頂くよう依頼する。	6ヶ月間

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。